

# 練馬区子ども・子育て支援事業計画実施状況(令和元年度)

【妊娠・出産期～】

## 1 子どもと子育て家庭の支援の充実

(1) 重点取組

### 【利用者支援事業】

令和2年3月31日時点

	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
①計画上の量の見込み	か所	5	5	12	12	12
②計画上の確保方策	か所	1	3	12	12	12
③確保方策(実績)	か所	1	3	12	12	12
[参考]利用実績	件	3,084	4,423	12,248	11,595	11,815
達成率	対「量の見込み」	—	20.0%	60.0%	100.0%	100.0%
	対「確保方策」	—	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(事業の進捗に関するコメント)

平成29年度から、区役所および4か所の子ども家庭支援センターに「すくすくアドバイザー」を配置し、子育てに関する「何でも相談」に対応している。4か所の子ども家庭支援センターでは、窓口での相談に加え、近隣施設での出張相談を実施するなど、より身近な場所で相談しやすい環境整備に取り組んだ。  
また、母子保健型の利用者支援事業は平成28年4月から開始しているが、計画の中間見直しに際して、平成29年度から計画上の量の見込みと確保方策に加えている。

### 【地域子育て支援拠点事業(子育てのひろば)】

令和2年3月31日時点

	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
①計画上の量の見込み	人回	203,943	202,259	312,922	310,964	310,776
②計画上の確保方策	か所	23	24	25	26	27
③確保方策(実績)	か所	22	24	25	26	27
[参考]利用実績	人回	222,341	255,651	264,409	287,454	267,465
達成率	対「量の見込み」	—	—	—	—	—
	対「確保方策」	—	95.7%	100.0%	100.0%	100.0%

(事業の進捗に関するコメント)

令和元年度は計画に基づいて1か所開設したが、令和2年3月31日をもって1か所閉室した。

### 【一時預かり事業】

(保育園一時預かり、乳幼児一時預かり、ファミリーサポートセンター事業等)

令和2年3月31日時点

	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
①計画上の量の見込み	人日	107,066	106,332	102,991	102,357	101,916	
②計画上の確保方策	人日	103,880	122,702	117,717	117,717	117,717	
③確保方策(実績)	人日	115,947	117,717	116,085	114,904	110,400	
[参考]利用実績(合計)	人日	57,693	61,328	62,233	60,304	56,793	
達成率	対「量の見込み」	—	108.3%	110.7%	112.7%	112.3%	108.3%
	対「確保方策」	—	111.6%	95.9%	98.6%	97.6%	93.8%

#### (事業の進捗に関するコメント)

保育園の一時預かり事業は、令和元年度の新規開設園はなかった。令和2年度以降も、安定的に事業を実施していけるよう支援していく。  
 乳幼児一時預かり事業は、5施設で実施しており、年間延べ31,033件の利用があった。  
 子どもトワイライトステイ(夜間一時保育事業)は、児童養護施設を含む3施設で実施しており、年間延べ790件の利用があった。  
 ファミリーサポート事業は、令和元年度に援助会員を対象とした障害児研修を実施し、軽度障害児の受入を試行した。令和2年度から軽度障害児の受入を本格実施する。

#### (2)重点取組における質的向上の取組に関する評価

利用者支援事業は、電話やメールによる相談の実施に加え、区ホームページやツイッターで事業周知の発信を行うなどして、広く区民へ事業の周知を図り、より相談しやすい環境の整備に努めている。  
 一時預かり事業についても、区ホームページ上に一時預かりのページを設け、年度途中に開始した施設がある場合は随時更新するなどして、区民に広く周知している。  
 乳幼児一時預かり事業については、令和元年度に予約管理システムを構築し、令和2年4月からインターネット予約受付を開始した。

#### (3)その他の主な取組

### 【妊婦健康診査】

令和2年3月31日時点

	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
①計画上の量の見込み	人	6,061	6,007	6,289	6,262	6,243	
	回	69,670	69,045	72,288	71,976	71,760	
②計画上の確保方策	—	○実施場所 …都内契約医療機関等 ○検査項目 …体重、血圧、尿、その他医学的検査 ○実施回数および実施時期 …14回(妊娠週数に応じて実施)					
③利用実績	人	6,240	6,060	5,984	5,703	5,677	
	回	71,096	71,115	69,080	66,893	65,855	
達成率	対「量の見込み」	—	103.0%	100.9%	95.2%	91.1%	90.9%
		—	102.0%	103.0%	95.6%	92.9%	91.8%
	対「確保方策」	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—

#### (事業の進捗に関するコメント)

妊婦の数が減少したため、妊婦健診の利用実績が減少した。また、元年度末の新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少も考えられる。

【乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問)・養育支援訪問事業】

令和2年3月31日時点

	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
①計画上の量の見込み	人	5,568	5,518	5,777	5,752	5,735	
②計画上の確保方策	—	○実施体制 …①配慮が必要な家庭：常勤保健師が訪問指導 ②上記以外の家庭：委託助産師等が訪問指導 ○委託助産師数 …年間約130家庭に対し1名の割合で配置					
③訪問実績	人	5,749	5,723	5,430	5,490	5,389	
達成率	対「量の見込み」	—	103.3%	103.7%	94.0%	95.4%	94.0%
	対「確保方策」	—	—	—	—	—	—

(事業の進捗に関するコメント)

出生数が減少した為、訪問実績も少なかった。また、元年度末は新型コロナウイルス感染症の影響により訪問実績が減少した。

【子育て短期支援事業(ショートステイ)】

令和2年3月31日時点

	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
①計画上の量の見込み	人日	1,381	1,373	936	950	959	
②計画上の確保方策	人日	3,120	3,120	4,380	4,380	4,380	
③確保方策(実績)	人日	4,392	4,380	4,380	4,380	4,380	
[参考]利用実績	人日	855	865	1,074	1,451	1,515	
達成率	対「量の見込み」	—	318.0%	319.0%	467.9%	461.1%	456.7%
	対「確保方策」	—	140.8%	140.4%	100.0%	100.0%	100.0%

(事業の進捗に関するコメント)

確保方策(実績)が計画上の量の見込みや利用実績を上回る状況にあるが、要支援家庭の利用が全体の6割を超えており、児童虐待対応で緊急的に使用することもあることから、引き続き現状を維持する。  
 また、聖オディリアホーム乳児院では、令和元年度から宿泊を伴わない日帰り型の運用を開始した。  
 なお、本事業においては、平成29年度から「要支援家庭を対象にしたショートステイ事業」を実施している。

【乳児期～幼児期】

2 子どもの教育・保育の充実

(1) 重点取組

◎「練馬こども園」の実施状況

	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
認定園数	園	13	13	16	16	16
定員枠数	人	926	926	1,135	1,205	1,365

※ただし、令和元年度の数値は、平成31年4月1日時点の数字。

【参考】令和2年4月1日時点の実績値

	単位	令和2年度
認定園数	園	20
定員枠数	人	1,429

※標準型1園と低年齢型1園は重複で認定。

【1号認定(3～5歳)】

令和2年3月31日時点

	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
①計画上の量の見込み	人	10,449	10,707	9,688	9,918	10,011	
②計画上の確保方策	人	11,162	11,162	11,197	11,197	11,197	
③確保方策(実績)	人	11,597	11,197	11,087	11,012	10,867	
達成率	対「量の見込み」	—	111.0%	104.6%	114.4%	111.0%	108.6%
	対「確保方策」	—	103.9%	100.3%	99.0%	98.3%	97.1%

【幼稚園預かり保育】

令和2年3月31日時点

	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
①計画上の量の見込み	人日	307,446	306,438	362,007	370,818	374,098	
②計画上の確保方策	人日	206,560	230,560	460,946	481,946	490,946	
③確保方策(実績)	人日	387,984	450,496	444,855	498,521	570,511	
[参考]利用実績	人日	156,977	184,495	185,857	226,962	267,746	
達成率	対「量の見込み」	—	126.2%	147.0%	122.9%	134.4%	152.5%
	対「確保方策」	—	187.8%	195.4%	96.5%	103.4%	116.2%

(事業の進捗に関するコメント)

区独自の制度として、11時間の預かり保育(標準型)を行う私立幼稚園を、練馬型幼保一元化施設「練馬こども園」として認定し、拡大に取り組んでいる。  
令和元年度から、短時間型(9時間)および低年齢型(0～2歳児)を新たに創設し、さらなる拡大に努めるなどした結果、令和元年度は、新たに4園(1園は標準型と重複)認定し、認定園数は20園(実園数は19園)となった。

## 【2号認定(3～5歳)】

令和2年3月31日時点

		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
①計画上の量の見込み		人	6,490	6,425	7,974	8,629	9,147
②計画上の確保方策		人	7,175	7,554	8,816	9,216	9,750
③確保方策(実績)		人	7,219	7,581	8,841	9,242	9,831
内訳	保育所	人	7,015	7,458	7,577	7,824	8,306
	地域型保育事業	人	—	—	—	24	14
	練馬こども園	人	—	—	1,135	1,205	1,365
	その他	人	204	123	129	189	146
達成率	対「量の見込み」	—	111.2%	118.0%	110.9%	107.1%	107.5%
	対「確保方策」	—	100.6%	100.4%	100.3%	100.3%	100.8%

## 【参考】令和2年4月1日時点の実績値

		単位	令和2年度
定員枠数		人	10,312
内訳	保育所	人	8,714
	地域型保育事業	人	27
	練馬こども園	人	1,419
	その他	人	152

## 【3号認定(0歳)】

令和2年3月31日時点

		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
①計画上の量の見込み		人	1,318	1,303	1,422	1,476	1,524
②計画上の確保方策		人	1,334	1,369	1,414	1,504	1,575
③確保方策(実績)		人	1,325	1,339	1,429	1,488	1,552
内訳	保育所	人	948	1,011	1,037	1,097	1,190
	地域型保育事業	人	108	127	194	234	224
	その他	人	269	201	198	157	138
達成率	対「量の見込み」	—	100.5%	102.8%	100.5%	100.8%	101.8%
	対「確保方策」	—	99.3%	97.8%	101.1%	98.9%	98.5%

## 【参考】令和2年4月1日時点の実績値

		単位	令和2年度
定員枠数		人	1,616
内訳	保育所	人	1,278
	地域型保育事業	人	225
	その他	人	113

## 【3号認定(1・2歳)】

令和2年3月31日時点

		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
①計画上の量の見込み		人	5,166	5,278	5,773	6,161	6,345
②計画上の確保方策		人	5,173	5,350	6,071	6,341	6,572
③確保方策(実績)		人	4,962	5,317	6,095	6,386	6,627
内訳	保育所	人	4,023	4,377	4,731	4,966	5,264
	地域型保育事業	人	284	429	801	977	959
	その他	人	655	511	563	443	404
達成率	対「量の見込み」	—	96.1%	100.7%	105.6%	103.7%	104.4%
	対「確保方策」	—	95.9%	99.4%	100.4%	100.7%	100.8%

## 【参考】令和2年4月1日時点の実績値

		単位	令和2年度
定員枠数		人	6,885
内訳	保育所	人	5,609
	地域型保育事業	人	883
	その他	人	393

## (事業の進捗に関するコメント)

令和元年度は、令和元年10月実施の幼児教育・保育の無償化による保育需要の増加等へ対応するため、認可保育所の新規整備等により、779人の定員を拡大し、令和2年4月の待機児童数は、これまでで最少の11人となった。令和3年4月に向けては、地域や年齢ごとの需給バランスおよび将来の少子化トレンドも考慮し、認可保育所を整備して、410人の定員を拡大する。

## 【延長保育事業】

令和2年3月31日時点

		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
①計画上の量の見込み		人	6,263	6,227	7,299	7,366	7,400
②計画上の確保方策		人	6,350	7,301	7,976	8,657	9,243
③確保方策(実績)		人	6,411	7,328	7,977	8,335	8,860
【参考】利用登録実績(4月1日現在)		人	1,250	1,347	1,260	1,278	1,340
達成率	対「量の見込み」	—	102.4%	117.7%	109.3%	113.2%	119.7%
	対「確保方策」	—	101.0%	100.4%	100.0%	96.3%	95.9%

## (事業の進捗に関するコメント)

認可保育所の整備等に合わせて延長保育事業の定員拡大を進め、確保方策(実績)が計画上の量の見込みを上回る状況となった。

【病児・病後児保育事業】

令和2年3月31日時点

	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
①計画上の量の見込み	人日	11,388	11,323	13,596	13,733	13,810	
②計画上の確保方策	人日	12,740	14,300	13,780	14,560	16,120	
③確保方策(実績)	人日	12,740	13,000	13,910	14,668	16,640	
[参考]利用実績	人日	6,431	6,741	7,651	7,403	8,046	
達成率	対「量の見込み」	—	111.9%	114.8%	102.3%	106.8%	120.5%
	対「確保方策」	—	100.0%	90.9%	100.9%	100.7%	103.2%

(事業の進捗に関するコメント)

平成31年4月から新たに1施設を開設し、前年度に比べ延べ利用定員が1,972人日分拡大した。また、利用実績も前年に比べ643人増加した。

(2)重点取組における質的向上の取組に関する評価

民間活力の活用の推進により、保育内容の多様化と共に、病児・病後児保育や延長保育など、高度化・多様化するサービスに応じたきめ細やかなサービスの拡充が実現できており、保育サービスの質的向上につながっている。  
 また、練馬こども園の推進により、より一層教育・保育サービスの利用の選択の幅を広げることができている。  
 練馬こども園の推進においては、幼稚園と保育所との相互の研修や交流の機会を設けたり、幼稚園と地域型保育、認証保育所との懇談会の実施などを通じ、教育・保育の双方の質の向上を図るための取組も推進しており、これらの取組も教育・保育の質的向上に寄与している。令和元年度から保護者の就労形態やニーズの多様化に応えるため、11時間の預かり保育(標準型)に加え、新たな仕組みとして短時間型(9時間)および低年齢型(0～2歳児)を創設した。  
 利用者が安心して保育サービスを選択・利用できるようにするため、各種サービスの運営状況の「見える化」や利用者の意見・相談に対応する仕組みの構築に関する内容について引き続き検討していく。

(3)その他の主な取組

【多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業】

令和2年3月31日時点

	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
①計画上の量の見込み	人	6	6	12	12	12	
②計画上の確保方策	人	6	6	11	12	12	
③確保方策(実績)	人	12	12	11	13	20	
達成率	対「量の見込み」	—	200.0%	200.0%	91.7%	108.3%	166.7%
	対「確保方策」	—	200.0%	200.0%	100.0%	108.3%	166.7%

(事業の進捗に関するコメント)

多様な主体が本制度に参入することを促進するため、各保育施設への巡回支援を実施している。  
 民間保育施設については、区内保育施設数の増加に対応するため、巡回支援員を増員した。内容面では、認可外保育施設を含めた区内すべての保育施設への巡回を実施した。  
 また、令和元年度から新たに、保育サービス事業者への指導検査に特化した専管部署を設置することで保育の質の維持・向上を図っている。  
 区立保育園については、新規委託に向けた準備委託を円滑に行うため、運営支援担当係を増員した。内容面では、委託園が受ける第三者評価や監査に立会い、必要に応じて指導を行うとともに、各園で運営委員会を定期的に開催し、三者(保護者、施設、区)の関係の円滑化を図っている。

【小学生～中高生】

### 3 子どもの成長環境の充実

(1) 重点取組

#### ◎「ねりっこクラブ」の実施状況

	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実施か所数	か所	—	3	8	13	19
受入上限	人	—	270	720	1,215	1,785

※ただし、令和元年度の数値は、平成31年4月1日時点の数字。

#### 【参考】令和2年4月1日時点の実績値

	単位	令和2年度
実施か所数	か所	27
受入上限	人	2,480

#### 【放課後児童健全育成事業(学童クラブ)】

令和2年3月31日時点

	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
①計画上の量の見込み	人	6,185	6,204	5,175	5,434	5,780	
※低学年	人	5,112	5,154	5,175	5,434	5,780	
※高学年	人	1,073	1,050	1,367	1,398	1,397	
②計画上の確保方策	人	4,706	5,016	5,236	5,516	5,816	
③確保方策(実績)	人	4,777	4,970	5,236	5,521	5,784	
[参考]受入数(4月1日現在)	人	4,467	4,636	4,921	5,135	5,440	
達成率	対「量の見込み」	—	77.2%	80.1%	101.2%	101.6%	100.1%
	対「確保方策」	—	101.5%	99.1%	100.0%	100.1%	99.4%

※中間見直しにより、当面の間、低学年への対応を優先する。そのため、平成29年度以降(見直し後)の量の見込みは低学年のみとする(高学年の量の見込みは、網掛け部分に参考値として表記する)。

#### 【参考】令和2年4月1日時点の実績値

	単位	令和2年度
受入上限	人	6,126
受入数	人	5,735

(事業の進捗に関するコメント)

区立学童クラブは、施設面積基準に基づき受入上限を最大限に増やした。  
令和2年4月から、ねりっこクラブを新たに8校で開始し、民間学童保育を新たに2か所開設した。引き続きねりっこクラブを推進し、受入上限の拡大を進める。

#### (2) 重点取組における質的向上の取組に関する評価

ねりっこクラブでは、学童クラブの受入上限の拡大、長期休業(夏・冬・春休み)も含めたひろば事業の実施に加え、民間事業者の企画力を生かしたプログラムの充実や、学童クラブとひろば事業の児童の交流の機会の拡大を図っている。これらのプログラム実施等の際は、プログラムがより一層充実したものとなるよう、区のコーディネーターも積極的な支援を行うよう努めている。また、小学校との連携を強化し、協力体制ができたことで、放課後における子どもたちの活動スペースの拡大が進んでいる。すべての小学生が充実した放課後を過ごす環境を整えるため、引き続き、ねりっこクラブの全校実施に向けた取組を推進する。



#### 4 計画全体の実施状況

		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
達成率	対「量の見込み」	—	116.1%	125.5%	128.3%	129.3%	134.9%
	対「確保方策」	—	113.1%	116.9%	99.8%	100.4%	105.6%

※上記の達成率は、目標値を設定している事業のすべての項目の達成率の平均値。